

(別紙 2)

平成 29 年度予算に係る水道施設整備事業の再評価について

1. 概要

水道課では、個々の水道施設整備事業を対象に、平成 23 年 7 月 7 日厚生労働省健康局長通知「水道施設整備事業の評価実施要領」で定めるところにより、事業の継続、中止、休止等の判断に資するための評価（再評価）を実施することとしている。

2. 評価の実施時期

平成 28 年度

3. 評価結果

平成 29 年度予算に係る再評価として、別表のとおり継続 4 件という結果を得た。各事業の内訳については、次表のとおりである。

表 再評価結果内訳

事業区分	実施件数	結果			
		継続	休止	中止	見直し
簡易水道等施設整備事業	3	3	0	0	0
水道水源開発等施設整備事業	1	1	0	0	0
生活基盤施設耐震化等交付金	0	0	0	0	0
計	4	4	0	0	0

(1) 継続する事業

水道課では、公衆衛生の向上、生活改善の見地から安全で良質な水道水の安定的な供給を図るために、4 事業の継続を決定した。

平成29年度予算に係る再評価結果一覧表

【簡易水道等施設整備事業】

(単位:千円)

都道府県	事業者名	地区名	事業名	工期(年度)		総事業費 (千円)	便益(B)		費用(C) (千円)	B/C	その他の指標による評価	対応方針	備考
				始	終		総便益 (千円)	便益の主な根拠					
沖縄県	宮古島市	宮古島市	宮古島市水道施設整備事業	H19	H38	8,603,454	15,787,516	減・断水被害額の減 施設監視員委託費の減 井戸建設費の減	11,026,711	1.43	本事業は、ワグード開発に伴う水需要増加に対応する井戸の増設や配水区域の再編、施設・管路の老朽化や経年化に伴う更新及び耐震化、新設管路精美等であり、安全で安定した水供給を確保するために必要であること、また費用便益費も全体事業及び残事業においていずれも1.0以上であることから、継続していくことが望ましい。	継続	
沖縄県	恩納村	恩納村	恩納村水道整備事業	H18	H44	8,107,244	22,452,596	住民による飲料確保費用の回避 (井戸の建設費・維持管理費、水質検査費) 地震被害の軽減 (被害額の減、復旧工事費の減、漏水損失額の低減、維持管理費の低減)	8,087,154	2.78	本事業は、平成30年度に完成を迎える第3次拡張事業ならびに平成30年度より事業開始となる耐震化事業を計画的かつ効率的に遂行することが望ましい。	継続	
広島県	安芸高田市	安芸高田市八千代町	八千代簡易水道施設整備事業	H13	H33	1,587,000	3,748,124	漏水事故の低減 供給安定性能の向上 (施設の安定性向上、運用機能向上) 水不足解消 (浄水能力向上)	3,303,618	1.13	本事業は、「費用対効果分析」により、「事業全体の投資効率性」と並び「残事業の投資効率性」とともに基準値以上のB/Cが得られ、本事業の代替案についてはその可能性が無く現計画が最適案であることから、事業継続実施が妥当であると判断する。	継続	

平成29年度予算に係る再評価結果一覧表

【上水道等施設整備事業】

(単位:千円)

[illegible]